

ハーネス型安全帯用 エマージェンシーストラップ

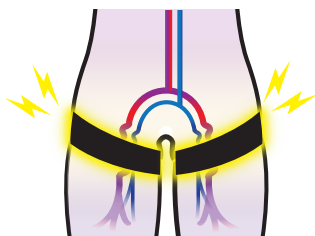
「サスペンショントラウマ」対策には「EGCS」

墜落阻止後の宙吊り時に使用



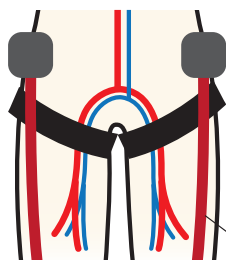
ループ付き
ストラップ

フック付き
ストラップ



サスペンショントラウマとは？

ハーネス型安全帯の装着者が、墜落阻止後の宙吊り状態になった際に、腿ベルトの食い込みが下肢の血管や神経を圧迫することで発生します。正常な血液の循環が行われないと、身体に酸素が行き渡らなくなり、様々な症状を引き起こします。



エマージェンシーストラップ (EGCS) に体重を預ける事で、腿ベルトの食い込みが緩和され、血管や神経の圧迫を軽減し、サスペンショントラウマの発生や進行を遅らせます。

EGCS



平時はストラップを巻いてコンパクトに収納。



フックをループにかけて2本のストラップを繋ぎ、これに両足を乗せて踏ん張ると、腿ベルトの締め付けが緩和される仕組みです。

■製品の構成



*左右二個一組

■ハーネスへの取付

ハーネスのベルトに取付ストラップで取付後、保護カバーを閉じます。

・取付は、体重をかけてもズレないよう、腰付近のベルトがクロスする部分に取り付けてください。
*江戸鳶 / 猿とびハーネスの場合は、腿ベルトに取り付けます。

詳しくは取扱説明書をご覧ください。



[本製品はフリーサイズです。ループはストラップに20cm毎に設けられていますので、長さの調節が可能です。]

サスペンショントラウマの代表的な症状

参考:「SUSPENSION TRAUMA: A LETHAL CASCADE OF EVENTS」
著者:DR. NORMAN WOOD(2012)

■下肢に血液が溜まり、全身の血液循環が正常に行われなくなる。

- ・心臓や脳等の重要な臓器に酸素が届かなくなり、吐き気やめまい・失神などの意識障害や、視覚障害が発生。
- ・血流の滞留箇所血栓が発生し、それが心臓や肺に達すると重篤な障害を引き起こす。

■圧迫による痛みを伴う場合、自律神経が乱れ、これが長時間続くと心拍数の減少や血圧の低下が起こる。

- ・症状の進行を加速させることとなる。

*墜落阻止後は速やかに本製品の使用を開始してください。

*本製品の使用で、サスペンショントラウマを完全に防げるものではありません。

**ストラップに体重を預けて
腿部の締め付けを緩和**

製造元

サンコー株式会社 <http://www.sanko-titan.co.jp/>

本社・本社工場 〒532-0033 大阪府大阪市淀川区新高1丁目14番7号 TEL.06-6394-3541(代) FAX.06-6395-0041
東京支店 〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目25番5号 TEL.03-3352-5404 FAX.03-3350-5320
北海道営業所 〒003-0813 北海道札幌市白石区菊水1丁目52番18-2 TEL.011-832-0145 FAX.011-832-7895
東北営業所 〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1丁目1番8号 TEL.022-797-9860 FAX.022-797-9851
名古屋営業所 〒456-0056 愛知県名古屋市中区三番町22番15号 TEL.052-653-5770 FAX.052-653-5810
九州営業所 〒814-0164 福岡県福岡市早良区賀茂4丁目6番28号 TEL.092-873-0392 FAX.092-873-0948